

入札公告

(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く。))

次のとおり一般競争入札に付します。

平成26年4月25日

支出負担行為担当官

沖縄防衛局長 武田 博史

1 業務概要

(1) 業務の名称 空自那覇外(26)駐機場増設等土木設計

(2) 業務内容 本業務は、空自那覇基地内及び海自沖縄基地隊内における以下の施設の整備に係る土木設計業務を行うものである。

○空自那覇基地

1 給油車駐車場増設 エプロン実施設計(約3,300㎡)

2 道路新設 道路設計(約400m)

擁壁等実施設計(逆T式 2断面)

3 駐機場(C)増設 用地造成実施設計(約6,000㎡)

エプロン実施設計(約4,800㎡)

4 駐機場(D)新設 エプロン実施設計(約7,000㎡)

5 庁舎(C)の建設予定地の既設建物解体

既設建物(プール)解体設計(建物投影面積 約600㎡)

○海自沖縄基地隊

・ 発電機室新設(建物投影面積 約240㎡)

建物附帯土木実施設計(造成工事、舗装工事、給排水工事、環境整備工事)

なお、詳細については、特記仕様書による。また、ここに記載の内容が、特記仕様書等と異なる場合には、特記仕様書等を優先するものとする。

(3) 履行期限 平成26年10月31日

ただし、既設建物解体設計については、平成26年8月31日まで。

(4) 本業務は、入札時に「企業による技術提案」を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、技術提案の履行を含め、契約の内容に適合した履行確保を厳格に評価するために、「履行確実性」の審査を追加し、その結果を評価に反映させる試行対象業務である。

- (5) 本業務は、資料提出及び入札を紙（電子入札システムは使用しません。）で行う。
- (6) 本業務は、業務費内訳明細書の提出を義務付ける業務である。
- (7) 本業務は、業務の品質確保を図ることを目的として、受注者の負担において第三者履行確認を義務付ける試行対象業務である。

詳細は入札説明書に記載しているもので、熟読の上、申請書を提出すること。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない。
- (2) 装備施設本部長から測量・建設コンサルタント等業務の「土木」に係る一般競争（指名競争）参加資格で「Aランク」の格付を受け、沖縄防衛局に競争参加を希望している（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けている。）。
- (3) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「技術資料」という。）提出期限の日から開札の時点までの期間に、沖縄防衛局長から「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（通達）」（施本第1605号(CCP)。6.8.31）に基づく指名停止を受けている期間中でない。
- (4) 次に示す同種又は類似業務について、元請けとして平成16年4月1日から入札公告日までに完了又は引渡し完了した業務の実績を有する。
 - ・同種業務：飛行場施設におけるコンクリート舗装の実施設計業務の実績を有すること。
 - ・類似業務：コンクリート舗装の実施設計業務の実績を有すること。なお、当該実績が平成16年4月1日以降に契約した地方防衛局、地方防衛支局（長崎防衛支局を除く。）又は装備施設本部（以下「地方防衛局等」といい、旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の業務に係るものにあつては、業務成績評定通知書の業務評定点（以下「評定点」という。）が65点未満のものを除く。
- (5) 入札に参加を希望する者の間に資本関係又は人的関係がない（基準に該当する者のすべてが共同体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。詳細は入札説明書による。
- (6) 沖縄防衛局が発注した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡し完了した業務の実績がある場合には、評定点の平均が65点以上である。
- (7) 次の基準をすべて満たす技術者を配置できる。

ア 配置予定管理技術者

配置予定管理技術者については、次の(ア)から(エ)に示す条件をすべて満たす

者である。

(ア)以下のいずれかを有していること。

- ① 技術士（総合技術監理部門：建設部門関連科目）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。
- ② 技術士（建設部門）で平成12年度以前に試験に合格し、技術士法による登録を行っている者。
- ③ 技術士（建設部門）で平成13年度以降に試験に合格し、技術士法の登録を行っている場合には7年以上の実務経験を有し、かつ業務に該当する部門（技術士制度における技術部門のうち建設部門）に4年以上従事している者。
- ④ R C C Mの資格を有し「登録証書」の交付を受けている者。
- ⑤ 土木学会認定技術者（特別上級、上級、1級）の資格を有する者。

(イ) 平成16年4月1日から入札公告日までに完了又は引渡し完了した業務のうち、次に示す同種又は類似業務においての経験を有する。

- ・同種業務：飛行場施設におけるコンクリート舗装の実施設業務の実績を有すること。
- ・類似業務：コンクリート舗装の実施設業務の実績を有すること。

なお、当該経験が平成16年4月1日以降に契約した地方防衛局等の業務に係るものにあつては、評定点が65点未満のものを除く。

(ウ) 平成26年4月25日現在の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む。）が4億円未満かつ10件未満である。

なお、平成26年4月25日現在の手持ち業務に沖縄防衛局と契約した業務で予決令第85条の規定に基づいて作成された基準（以下「調査基準価格」という。）を下回る価格で落札した業務がある場合は、手持ち業務量が2億円未満かつ5件未満である者とする。

手持ち業務とは、管理技術者又は担当技術者となっている契約金額500万円以上の業務をいう。

(エ) 入札公告日の時点で申請者と直接的な雇用関係がある。

イ 配置予定担当技術者

以下のいずれかを有していること。

- ① 技術士（総合技術監理部門：建設部門関連科目）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。
- ② 技術士（建設部門）で平成12年度以前に試験に合格し、技術士法による登録を行っている者。

- ③ 技術士（建設部門）で平成13年度以降に試験に合格し、技術士法の登録を行っている場合には7年以上の実務経験を有し、かつ業務に該当する部門（技術士制度における技術部門のうち建設部門）に4年以上従事している者。
- ④ RCCMの資格を有し「登録証書」の交付を受けている者。
- ⑤ 土木学会認定技術者（特別上級、上級、1級）の資格を有する者。
- ⑥ 1級土木施工管理技士の資格を有する者。
- ⑦ 2級土木施工管理技士の資格を取得後4年以上の実務経験を有する者。
- ⑧ 大学卒業後5年、短大・高専卒業後8年、高校卒業後11年以上の実務経験を有する者。
- ⑨ ⑥又は⑦、⑧と同等以上と認められる者。

なお、配置予定管理技術者との兼務を認めない。

- (8) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者でない。
- (9) 競争参加資格確認のため、添付を義務づけた資料の添付がなく、記載内容の確認ができない場合は、書類不備により、参加資格の確認ができないとして欠格とする。

3 総合評価に関する事項

(1) 評価項目

本業務の評価項目は、次のアからオとし、詳細は入札説明書による。

- ア 企業の実績及び能力
- イ 配置予定管理技術者の経験及び能力
- ウ 配置予定担当技術者の経験
- エ 業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他

(2) 総合評価の方法

ア 評価値の算出方法

価格と価格以外の要素がもたらす総合評価は、「価格評価点」と「技術評価点」の合計を評価値（以下「評価値」という。）として付与する。

イ 価格評価点の算出方法

価格評価点の満点は60点とし、算出方法は以下のとおりとする。

$$\text{価格評価点} = 60 \text{点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

ウ 技術評価点の算出方法

技術提案書の内容に応じて次に示す評価項目ごとに評価を行い、技術評価点を付与する。

配置予定技術者についてはヒアリングを予定している。

(ア) 企業の実績及び能力

(イ) 配置予定管理技術者の経験及び能力

(ウ) 配置予定担当技術者の経験

(エ) 業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他

技術評価点の満点は60点とし、算出方法は以下のとおりとする。

技術評価点=60点×(技術評価の得点合計/技術評価の配点合計)

(3) 落札者の決定方法

ア 入札参加者は、価格及び(1)アからエをもって入札し、入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格(以下「予定価格」という。)の制限の範囲内であるもののうち、(2)によって得られた評価値の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、発注者の定める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

イ 上記の場合において、評価値の最も高い者が二者以上あるときは、くじへ移行する。くじの実施方法等については、発注者から指示をする。

(4) 実施上の留意点

受注者より提出された「業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他」及び「評価テーマに対する技術提案」については、業務完了後において履行状況の検査を行う。

受注者の責により提案内容を満足する業務が行われない場合は、ペナルティとして、評定点を減ずることとし、最大10点の減点とする。

4 入札手続等

(1) 担当部局

〒904-0295 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9

沖縄防衛局総務部契約課契約審査係

TEL 098-921-8131 (内線154)

FAX 098-921-8167

(2) 入札説明書の交付期間等

ア 交付期間 平成26年4月25日から平成26年6月9日まで(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)第1条第1項に規定する行政機関の休日を除く。)の毎日、午前9時から午後5時(金曜日は午後6時)まで(正午から午後1時ま

での間を除く。)。ただし、最終日は正午まで。

イ 交付場所 上記(1)に同じ。

ウ 交付方法 すべて、CD-R（ダウンロードシステムは使用しません。）で交付を行う。

文書類 : PDF (Acrobat8形式以下)

申請書類 : Word (Ver2007形式以下) 又はExcel (Ver2007形式以下)

なお、標記以外の形式による提供は一切行わない。

(1)へ「図面データの取扱いに関する同意事項」(記入・押印済みのもの)、データを保存するために必要な、CD-R(未使用に限る。)1枚及び着払いのラベル(宅配業者の場合)又は切手(日本郵便の場合)を貼付した返信用の封筒を同封し、送付する。

なお、配送によるもの以外の対応は行わない。また、この対応により被った不利益や損害については、一切補償しない。

※「図面データの取扱いに関する同意事項」の書式については、装備施設本部のホームページより入手可能である。

(<http://www.mod.go.jp/epco/dfaa/news/kensetsu/zugadata-douijikou.pdf>)

(3) 申請書、技術資料及び技術提案書の提出期限等

ア 提出期限 平成26年5月12日 正午

イ 提出方法 (1)に持参又は郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)(以下「郵送等」という。)する。

(4) 入札書の受領期限等

ア 受領期限 平成26年6月5日 正午

イ 提出方法 (1)に持参することとし、郵送等は認めない。

(5) 開札の日時及び場所

ア 日時 平成26年6月10日 午前10時30分

イ 場所 沖縄防衛局1階 入札室1

5 その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金 免除。

(3) 契約保証金 納付(保管金の取扱店 日本銀行コザ代理店)。ただし、利付国債の提供(保管有価証券の取扱店 日本銀行コザ代理店)又は金融機関若しくは保証事業会社の保証(取扱官庁 沖縄防衛局)をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

(4) 入札の無効

次に掲げる入札は無効とする。

- ア 本公告において示した競争参加資格のない者のした入札
- イ 申請書等に虚偽の記載をした者の入札
- ウ 入札に関する条件に違反した入札

(5) 落札者となるべき者の入札価格が調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の規定に基づく調査を行うので、協力しなければならない。

(6) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。

(7) 予定価格に対して、著しく低い価格又は高い価格で応札した場合は、当局の行う調査に協力を求める場合がある。

(8) 一般競争参加資格確認通知書により競争参加資格があると認めた者が応札しなかった場合は、当局の行う調査に協力を求める場合がある。

(9) 手続における交渉の有無 無。

(10) 契約書作成の要否 要。

(11) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4(1)に同じ。

(12) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加 上記2(2)に掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記4(3)により申請書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時点において、当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(13) 技術提案の履行を含め、契約内容に適合した履行が可能か否かを審査するため、調査基準価格未満で入札したすべての者について、開札後速やかに履行確実性に関するヒアリングを行うものとする。

(14) 詳細は入札説明書による。